

活動報告シート

主催：北海道建築士会まちづくり委員会
協賛：東西アスファルト事業協同組合

● 事業名	景観まちづくり塾 ～景観バスツアー in 夕張～ 「産業の歴史とコンパクトなまちづくり」	● 日 時	令和元年10月19日（土）
● 場 所	夕張市清水沢地区公民館	● 協力団体等	後援：北海道・夕張市 協力：（一社）清水沢プロジェクト・東亜建材工業(株)
● 活動の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 景観まちづくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 街中（空き家）まちづくり <input type="checkbox"/> 福祉まちづくり <input type="checkbox"/> 木のまちづくり <input type="checkbox"/> 経済まちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 人まちづくり <input type="checkbox"/> その他		

● 活動目的

一般市民に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくことに興味をもっていただくきっかけとなることを目的にするとともに、これからの景観まちづくりのリーダーとなる人材（建築士）への景観教育も目的とする。また、この事業を通して行政との連携も深めていきたい。

● 内 容

夕張までの道中、建築家と地域工務店がまちづくりを提案する住宅展示場「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ」を見学し、午後から夕張市清水沢地区公民館にて「夕張市のコンパクトなまちづくり」についてのガイダンスが行われた。その後、炭鉱遺産である旧北炭清水沢火力発電所の見学や、清水沢スリ山からまちなみをウォッチングした。

【南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ見学】（10：30～11：40）
移動のバス内にて、「南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ」ができた背景や概要などのガイダンスを受けた後、住宅展示場の6棟の住宅のうち2棟について、設計者（建築家）にナビゲートいただきながら内部見学が行われた。
「ガイダンス」 講師：（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所 副所長 松村博文氏
「南幌まちなかの家 見学」 ナビゲーター：山本亜耕建築設計事務所 代表 山本亜耕氏
「時と共に育つコートハウス 見学」 ナビゲーター：（有）アーキシップ・アソシエイツ 所長 久保田知明氏

【夕張市のコンパクトなまちづくり】ガイダンス（13：30～14：10）
夕張市で進められているコンパクトなまちづくりについて、市街地構造や人口推移などのデータを基に、ガイダンスが行われた。コンパクト化がうまく進んだポイントとして、①住民の財政破綻による危機意識②住宅の多くが公営住宅③旧炭鉱集落には生業がない④集約効果の徹底的「見える化」⑤市職員の熱意と行動があることや、ノイジー・マイノリティ（声高な少数派）を恐れない合意形成の方法について説明が行われ、興味深い内容であった。
講師：（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所 副所長 松村博文氏

【景観ウォッチング】（14：10～16：30）
清水沢地区をバスでゆっくり巡ったあと、炭鉱遺産である「旧北炭清水沢火力発電所」を見学するとともに、炭鉱まちの象徴である、石炭で積み上げられた「清水沢スリ山」に登り、清水沢のまちなみを望んだ。
ガイド：（一社）清水沢プロジェクト 代表理事 佐藤真奈美氏

● 参加者	運営	会員	一般	学生	子ども	その他	計
	9	20	9				38



南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジ見学



ガイダンス



旧北炭清水沢火力発電所見学



清水沢スリ山

問い合わせ先	（一社）北海道建築士会 まちづくり委員会		担当者	委員長 針ヶ谷 拓己（はりがや たくみ）	
連絡先	TEL 011-251-6076	FAX 011-222-0924	e-mail	info@h-ab.com	
ホームページアドレス	http://h-ab.com/				